

個別ルール導入前チェックリスト

情緒学級等で、個別の約束事・クールダウンの約束・困ったときのサインなどを導入する前に確認するためのチェックシートです。

ルールを増やす前に、必要性・守りやすさ・共有体制・見直し基準を整理する目的で使用してください。

児童名	作成日
作成者	見直し予定日
対象となる約束事	
想定する場面・目的	

1. 必要性の検討

☐ その場しのぎの注意ではなく、継続的な支援が必要な課題である。
☐ 環境調整や大人側の関わりだけでは支えきれず、個別ルール化する意味がある。
☐ ルール化することで、本人の安心・見通し・安全の確保につながる。
☐ 子ども本人の困り感と結びつけて説明できる。
☐ 「ルールを増やさずに済む方法」も一度は検討した。
メモ：なぜこの約束事が必要か、導入しないとどんな困りが続くか

2. 内容の明確さ・シンプルさ

☐ 約束事の内容を、一文で分かりやすく説明できる。
☐ 「～しない」だけでなく、「困ったときにどうするか」が示されている。
☐ 守るべき行動が具体的で、場面も明確である。
☐ 必要な道具・カード・サイン・手順表などが決まっている。
☐ 守れている姿を、関わる大人が同じように判断できる。
約束事の文言

3. 守れる設計になっているか

- ☐ 今の実態から見て、子どもが取り組める難易度になっている。
- ☐ 子どもが使うタイミングや合図が明確である。
- ☐ 教師の声かけ・支援手順・フォロー方法が決まっている。
- ☐ 守れたとき、子ども本人にとってのメリットや成功体験につながる。
- ☐ 守れなかったときに、責めるのではなく支援を見直す視点を持っている。
- ☐ 罰を前提にした運用になっていない。

メモ：守れたときの姿 / 難しそうな場面 / 支援の手順

4. 子どもへの説明と納得感

- ☐ なぜこの約束事が必要なのか、子どもに伝える準備がある。
- ☐ 「あなたを縛るため」ではなく、「困ったときに助けるため」の約束だと説明できる。
- ☐ 子どもにとってのよい変化やメリットを言葉にして伝えられる。
- ☐ 可能であれば、子どもの意見や気持ちを聞く機会を持つ。
- ☐ 複数の大人で説明するか、一対一で説明するかを本人の実態に応じて見極めた。

説明のポイント

5. チーム共有・家庭連携

- ☐ 同僚・支援員・交流学級担任など、日常的に関わる大人に共有する。
- ☐ 保護者に、目的・内容・運用方法を必要な範囲で共有する。
- ☐ 対応が人によって大きくぶれないよう、確認している。
- ☐ 担任しか知らないルールになっていない。
- ☐ 導入後の記録方法と共有方法が決まっている。

共有先

6. 継続・終了・見直し基準

☐ 一度導入したら、一定期間は続ける前提で設計している。
☐ 見直しの時期や条件が決まっている。
☐ 緩和・終了の目安がある。
☐ その日の気分や情だけで基準を動かさない。
☐ 子どもに無理が大きい場合は、チームで再検討する前提がある。

終了・見直しの目安

総合判断

☐ 導入してよい	☐ さらに検討する	☐ 今回は導入を見送る
理由・次の動き		
導入する場合の開始日		

このチェックリストは、担任一人でルールを増やさないための確認用シートです。必要に応じて、学校の実態や子どもの状況に合わせて調整してください。